

# 「スクールバスの運行検討に伴うアンケート」の結果に基づく運行案について

令和4年12月26日

滑川町教育委員会

平素より、町教育行政及び町立学校等の運営に対して、御理解と御協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、過日御協力いただいた保護者対象の「スクールバスの運行に伴うアンケート」及び住民を対象とした意見聴取会での意見、また、スクールバス運行検討委員会での協議等に基づき、スクールバス運行案の骨子を作成いたしましたので、公表させていただきます。

アンケートについては、次の点に留意し分析、検証を行っています。1点目は、単純な得票数ではなく、学校別、地区別で集計しその割合(=%)で比較していることです。分母となる数を考慮し1票の重みが不公平とならないようにしています。2点目は、スクールバスの必要性に着目した検証を行っていることです。スクールバス運行の必要性が高い学校、地区、学年を把握し、そのうえで比較検討しており、この2点に着目しつつ、総合的に分析を行った結果、次のとおりとなりました。このアンケートの分析・検証結果から、スクールバス運行案の骨子を作成しています。

なお、今後はこの骨子に基づき、具体的な運行案の作成に着手いたします。

## 1 スクールバス運行の必要性

→宮小 66.3%、福小 59.7%、月小 52.0%…全ての学校で過半数超え。

→みなみ野 86.2%、土塩 85.7%、十三塚 80.0%、都 79.5%…遠い地区ほど高い割合

→宮小就学前 85.0%、福小就学前 75.0%、宮小1年 73.1%、福小1年 71.4%、宮小3年 70.5%…低学年ほど高い割合

**∴スクールバスは必要。特に学校からの距離が遠い地区、低学年ほど、必要性を感じている**

## 2 乗車対象範囲について

→「実際の通学距離で決める」の回答が 61.0%で最も多い。特に学校から距離が遠い地区の割合が高い。

**∴実際の通学距離で乗車対象範囲を決定する**

## 3 乗車対象学年について

→「全学年を対象とする」が最も多く 65.0%となっている。人数の少ない福小で 76.4%、また、学校からの距離が遠い地区の割合も高い。

**∴乗車対象は、全学年とする**

## 4 乗車対象の通学路距離について

→宮小では「2 km以上」が最も多く 46.3%、福小では「3 km以上」が最も多く 44.2%、月小では「2 km以上」が最も多く 40.3%であった。

→バスを必要とする割合が高い地区では、みなみ野「3 km以上」が最も多く 52.0%、土塩「3km以

上」が最も多く 50.0%、十三塚「3km以上」が最も多く 50.0%、都「3 km以上」が最も多く 51.4%、和泉「2 km以上」が最も多く 50.0%、山田「2 km以上」が最も多く 62.5%

∴学校からの距離が遠い地区は、おおむね3km以上を対象とすることを希望している

## 5 スクールバスの運行期間について

→「年間で毎日登下校」が各校とも最も多く、宮小 57.1%、福小 51.2%、月小 69.5%

→そのうち、バスを必要とする割合が高い地区では、みなみ野 60.0%、土塩 66.7%、十三塚 75.0%、都 62.9%、和泉 40.0%、山田 50.0%、下福田は 70.0%

∴年間を通して、毎日登下校が必要である

## 6 スクールバスの運行形態について

→スクールバスが必要だと答えた人の中で「定点型」が良いと回答している割合は、宮小 67.3%、福小 69.8%、月小 70.1%

→そのうち、バスを必要とする割合が高い地区では、みなみ野 80.0%、土塩 100%、十三塚 85.0%、都 68.6%、和泉 80.0%、山田 62.5%、下福田は 70.0%

∴全体でも、バスを必要としている地区でも、定点型を望んでいる人が多い

## 7 添乗員の配置について

→「添乗員を配置したほうが良い」とした人の割合は、65.0%、宮小で68.6%、福小で62.5%、月小で61.8%と各校でも過半数を超えている。

∴添乗員を常に配置することを希望している

## 8 バス代の保護者負担について

→「バス代を負担したほうが良い」とした割合は、宮小 42.4%、福小 36.1%、月小 31.8%

→「バスを必要とした人で負担したほうが良い」と答えた人は、宮小 46.8%、福小 51.2%、月小 33.1%

→「バス代を負担しないほうが良い」とした割合は、宮小 33.0%、福小 37.5%、月小 42.6%

→「バスを必要とした人で負担しないほうが良い」と答えた人は、宮小 39.5%、福小 39.5%、月小 56.5%

∴バス代の負担は、全体では必要、不必要とほぼ差がなく、違う観点からの検討が必要

### 【アンケートから設定されるスクールバス運行案の骨子】

- 1 乗車対象について→実際の通学距離で3km以上とし、全学年を対象
- 2 毎日の登下校で運行する
- 3 運行形態は、定点型を基本とする
- 4 添乗員を配置する
- 5 バス代の保護者負担は、継続して検討する